

大阪大学蛋白質研究所セミナー

世界をリードするNMRとその科学技術・社会へのインパクト

文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「NMR 共用プラットフォーム」

日時:2013年8月5日(月)・8月6日(火)

場所: 千里ライフサイエンスセンター 501-503 会議室(千里中央)

(<http://www.senrilc.co.jp/access/index.html>)

8月5日(月)

13:00-13:30 座長 藤原 敏道(大阪大学)

所長挨拶

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課長 挨拶

長谷 俊治(大阪大学)

弦本 英一(文部科学省)

13:30-15:00 座長 楯 真一(広島大学)

蛋白研における NMR 共同利用拠点

符号化理論に基づく新規の安定同位体標識

創薬基盤としての NMR

藤原 敏道(大阪大学)

木川 隆則(理化学研究所)

西村 善文(横浜市立大学)

15:00-15:30 休憩

15:30-17:00 座長 寺沢 宏明(熊本大学)

NMR を用いた絹構造の決定から絹人工血管の開発へ

DNP-NMR 用高出力サブテラヘルツ光源 - Gyrotron の開発

産学連携に対する企業からの期待

朝倉 哲郎(東京農工大学)

出原 敏孝(福井大学)

末松 浩人(JEOL RESONANCE)

17:00-18:00 討論 「先端 NMR 研究開発, 共同利用とそのアウトカム」

座長 村田道雄(大阪大学)、栃尾 豪人(京都大学)

NMR コミュニティーに夢を

バイオメディカル産業へのインパクト

NMR の新たなトレンド

阿久津 秀雄(大阪大学)

鈴木 榮一郎(味の素株式会社)

寺尾 武彦(京都大学)

18:00- 懇親会

8月6日(火)

9:00-10:40 座長 片平 正人(京都大学)

1GHz 以上の超高磁場 NMR の実現の見通し

新技術を用いた将来の NMR プローブ -極低温、高周波技術を用いたプローブ開発

北海道先端 NMR ファシリティの共用促進

ESR から見た磁気共鳴研究の応用と展望

前田 秀明(理化学研究所)

高橋 雅人(理化学研究所)

出村 誠(北海道大学)

太田 仁(神戸大学)

10:40-11:00 休憩

11:00-12:30 座長 廣明 秀一(名古屋大学)

先端的 NMR 施設における試料調製と NMR 計測

ビッグデータ時代の NMR データ解析

将来への方向性に沿った理想の NMR 施設とは?

児嶋 長次郎(大阪大学)

小林 直宏(大阪大学)

池上 貴久(大阪大学)

世話人 : 藤原敏道・児嶋長次郎(阪大 蛋白研), 木川隆則・前田秀明(理研), 西村善文(横浜市大)

連絡先 : 〒565-0871 吹田市山田丘 3-2 大阪大学蛋白質研究所 藤原敏道

懇親会 : 2,000円